

ら・ら・ら

Life Long Learning

発効日/平成25年10月1日
 発行者/江別市生涯学習推進協議会
 編集/広報委員会
 連絡先/江別市教育委員会生涯学習課
 067-0074 高砂町24-6
 電話 011-381-1062
 FAX 011-382-3434
 HPアドレス <http://www.e-lalala.org/>

生涯学習リレー講座に参加して

講座1
**長寿社会と
 男女共同参画**
 北海道立女性プラザ館長 笹谷 春美氏

江別家庭生活カウンセラー
 江畑 稔

まず最初に先生は、日本がかつて人類の経験した事のない超高齢化社会に、既に突入していると言っています。

戦後、300年余りに渡る植民地搾取によって、国力遅滞の後遺症に呻吟していた東アジアの国々より一足先に抜け出したのは、歴史の悲劇が鬼畜米英の筈のアメリカの援助を背景に、植民地的破壊を受けていなかった日本でした。

経済成長、労働力集中の必要性により、核家族化は歴史のあだ花として現れ、続く三世帯世帯の減少は、子供達に家族の暖かみ、拠り所となる絆を希薄化させたのではないのでしょうか。高度成長は40有余年で終わり、更に失われた20年、この間近



隣諸国は完成品輸出出来る迄に成長し、そうでない国も安い労働生産性を武器に台頭し、その結果日本の一人勝ちは終焉し、格差と旧態依然たる体制遅滞が、若者と高齢者に襲い掛かる現実となる。

若者は、馬鹿馬鹿しい程の労働の低廉化、没個性化、消耗品化を強要され、当然の如く感性は疲弊して行くに比例して、不安感だけが増大、その結果社会問題化しています。

それを隠蔽するが如くの自己責任……。人権から一番遠くへ離され、本来なら社会が一番必要とする真面目な、責任感の強い人達が、その属性故に神経症の近くに追いやられている。

未婚子と同居の固定化、パラサイトシングル、夫婦間・老老・認認介護、健康格差、階層格差、社会関係格差を老後に迄刻印する問題は社会制度の方にあると先生は断言しています。

時代の変化に順応するには、予見能力が必須でありましょう。言い換えれば防衛機制、身体で言えば免疫機能、その目的は全体の安定にあり、現状維持ではない……。

変化する事で防衛し、その結果一纏まりの有機体として全体は変化しながら安定します。格差はこの変化を固定化し、畢竟、養分を独り占めする隠れ蓑に過ぎないと思います。

先生は、社会制度の歪みの現実、家族から地域から、従来のジエンダー規範を見直し、男女

を越える相互扶助が不可欠だと説き、更に若者や現役労働者の今の状況は、私達の老後と無縁ではないと結んでいます。

ジエンダーは、生物学的にはセックス(性)、社会的には征服、被征服を起源とする人為構築概念であり、男女を対のもの扱い、現実即して可変なものだと解釈しています。

先の大戦で、女性が男性の工場労働に従事して、戦後女性の社会参加に大いに貢献しますが、身体的、精神的にも優位さがあるとされている機能も80%以上同じであると言われています。

母性と父性、これを本来的の次元に迄、光を当て直して、相互扶助として具現化出来なければ、とても乗り切れない時代がすぐそこ迄来ていると認識させられたと思います。

講座2
**長寿社会に備えた
 町づくり**
 沼田町長 金平 嘉則氏

江別消費者協会 西懸 昭子

今回のテーマに大変興味がありました。

日本全国どこもが抱えている課題だと思いますが、これから迎える超高齢者社会に対してどんな町づくりが望まれるか。講座に参加して、沼田町がめざす明るい高齢者社会が見えてきました。



沼田町はおいしいお米のとれるところ。当会では縁あって産直事業として沼田町のお米の直売をしております。

開拓120年の歴史を持ち、温泉・化石の町として知られており、また、人口3,400人の住民が取組む夜高あんどん祭りは盛大で全国的にも有名になっております。

この祭りの他に町民体育祭など老若男女だれもが参加できる行事を通じて「互いのきずなをしっかりと」と言う長寿社会へ向けた町づくりへの挑戦がはじまっています。

私は高齢者と呼ぶことにちよっぴり抵抗がありました。最近のその世代のみなさんはとても元気で若々しく、ふさわしくない暗いイメージの言葉に感じましたが、今日のお話で

幸齢者Ⅱ生活の保障された高齢者Ⅱひかり輝く知識をを持った
 そんな高齢者が増えるような社会であってほしいと思います。
 明るい高齢者社会には地域の方のぞむ町づくりが実現の鍵になるようにです。



江別市子ども会育成連絡協議会

洞野 博文

あれ、今朝はやけに静かだな？
通学路が静まり返る夏休みの季節が来ました。

夏休みに子供達だけのキャンプ体験をと、江別市教育委員会と江別市子ども会育成連絡協議会主催の元、共催として江別市青少年サークル(高校生と大学生の団体)と江別市青少年活動協会(サークルの補佐団体)の協力で「ごんがり王国」の開催を迎える事が出来ました。

今年で45回を数えるこのキャンプは、通称「江別・恵庭線」の道立野幌総合運動公園体育館の裏手に位置する「江別市森林キャンプ場」を会場に、子供達だけで二泊三日のキャンプを体験する催しです。

江別市内の小学4年生から中学生まで、二グループ5〜8名で参加できます。このグループ約25組程度を青少年サークルの若者

達が約10名で二晩お世話をしてくれています。

今年の参加者は約700人。それぞれ楽しい夜を過ごしてくれた事と自負しております。

我々大人は子供達の補佐役で、雨による避難や事故防止のお手伝いとして付き添い(必要なとき以外はただ居るだけ)、なるべく手出しはしません。

子供達の二日は、会場に着くとミーティング(入国式)、テント設営、夕食準備、夕食、後片付け、レクリエーション(キャンプファイヤー等)、就寝、起床、体操、朝食準備、朝食、後片付け、テント片付け、レクリエーション(退国式)、帰宅とすべて自分達で行います。

炊事の火も、かまどを造りマッチで点火、「薪」で炊事をします。
この一連の指導を青少年サークルが行ないます。彼等は二週間もの間キャンプ場に泊り込んで決行してくれます。

普段、ご家庭でのキャンプといえば、お父さんがテントを建て、お母さんが用意した食事をする野外でのお泊りとなつていますが、ここでは各自が役割を持ち、仕事をしなくては食事すらできません。二晩経つとほんの少しだけ子供達が大人びて見えます…。

是非、ご近所に「ごんがり王国」を知らない子供がいましたら、ご紹介下さい。

江別市青少年サークル

会長 荻野 志穂

今年も青少年キャンプ村「ごんがり王国」が開催され、8月5日から6日間で約700人の小中学生が参加してくれました。

「普段できない貴重な体験」をテーマに、私たちサークルの指導で子どもたちは、大人の手を借りずにテントの組み立て、かまどで火を起こしての食事作りに挑戦しました。夜はキャンプファイヤーを囲んで、私たちが趣向を凝らして企画したレクゲームです。子どもたちは楽しそうに進んで参加してくれました。二泊三日のキャンプの終わりに、子どもたちから「楽しかったよ」「来年もまた来るね」と口々に言ってもらい、企画・運営をしてきた私たちとしては、とても嬉しい限りでした。

今年で45回目を迎えたこの歴



史ある「ごんがり王国」を共催させて頂けることを大変誇りに思います。これからも青少年サークルは、子どもたちの貴重な体験、楽しい思い出になることを企画し、積極的に活動していきたいと考えております。

カメの格好で奮闘する荻野会長



子どもたちとサークルの笑顔を大切に

江別市青少年活動協会

会長 関本 勝幸

青少年サークルのお兄さん、お姉さんが、遊びに来てくれた小学生と笑顔でテントをたてたり、夕食をつくったり、キャンプファイヤーを楽しんだりしている姿は本当に素敵だなと思います。

地元の高中生や大学生が、小学生や中学生のために行事を企画し、楽しい思い出づくりをプロ

デュースする。その中でいろいろな大人とかかわり、自分自身も成長させていく。私は、そんな姿が「地域で子どもを育てる」という青少年教育の一つのモデルであると思っています。

私たち江別市青少年活動協会は、青少年サークルのOB・OGで結成されている団体です。サークルが行事の中で、少しでも子どもとのかかわりに集中できるよう、支援活動をしています。今年「青少年キャンプ村「ごんがり王国」でも40名以上の会員がキャンプ場に駆けつけました。サークルのがんばっている姿を見たくて。楽しそうに活動に取り組みむ子どもたちの笑顔が見たくて…。

今後も微力ながら、江別市教育委員会や子ども会育成連絡協議会、各地区の自治会など、様々な方々と協力・連携をとりながら、青少年サークルを応援し続けていきたいと思っています。



江別市では市内の四大学と連携協力して「ふるさと江別塾」を開講します。

四大学の教員がそれぞれ専門の立場から、身近な問題について講義します。受講ご希望の方はお気軽にお申し込みください。

◆第1回北翔大学

日時／10月19日(土)
会場／スボル大会議室

◆講義1
江別市における児童生徒の体力向上に関する取り組みについて
生涯スポーツ学部 教授 増山 尚美

◆講義2
家庭でできる健康づくり・体力向上のための運動
短期大学部名誉教授・北方圏生涯スポーツ研究センター 研究員 晴山 紫恵子

◆第2回酪農学園大学

日時／10月26日(土)

会場／C1号館202教室

◆講義1
自然災害を知って
防災に役立てよう

◆講義2
農食環境学群

准教授 馬場 賢治

◆講義2
ウイルス感染症について

―ウイルスから身を守るには―
獣医学群 教授 萩原 克郎

◆第3回北海道情報大学

日時／11月2日(土)
会場／2号館115教室

◆講義1
インターネットビジネスの科学

―「経験と勘」から「確率・統計」へ―
経営情報学部 教授 向原 強

◆講義2
経営学で読み解く旭山動物園
経営情報学部 教授 坂本 英樹

◆第4回札幌学院大学

日時／11月9日(土)
会場／B館101教室・SGU

◆講義1
「ポストモラトリアム」とひきこもりの若者たち
人文学部 准教授 村澤 和多里

◆講義2
運動覚の体感
人文学部 教授 大瀬 隆

申込先 江別市教育委員会
生涯学習課 38111062

生涯学習フェスティバル

場所／市民会館小ホール
日時／11月16日(土)13時～17時

当協議会に加盟している会員の皆さんの日頃の活動を発表する「生涯学習フェスティバル」を開催します。唄あり、踊りあり、展示発表ありと盛り沢山のフェスティバルです。当日は軽食販売のほか飲み物もありませんので会員のみならず、一般の方もお気軽にご来場ください(入場無料)!!
※入場について、事前の申し込みは不要です。直接、会場までお越しください。

江別まち検定～第4回初級編・第3回上級編を実施します～

江別を知って江別をもっと好きになってもらう検定です

実施日：平成25年12月1日(日)

場所：野幌公民館ホール

検定料：(各) 1,000円

申込締切：11月22日(金)

初級編の試験時間：10時30分～11時30分

上級編の試験時間：13時～14時

*上級編は前年度までの初級検定合格者が当日初級編を受検される方が受検できます。

*出題範囲：地理自然、歴史、産業、生活文化、まち歩き

*合格基準：50問中35問以上の正解

*合格特典があります。ふるって受検してください。

【申し込み・問い合わせ】江別市民活動センター・あい

電話：011-374-1460/fax：011-374-1461

HP：http://center-i.jp/kentei/



これからのイベント

◆子ども文化ネットワーク・江別

こねっと10周年記念絵本フェスティバル

おはなし会、講演会と工作会

日時／10月5日(土)12時～
10月6日(日)10時30分～

場所／野幌公民館研修室

◆こねっとおはなし会

おはなし会

日時／10月19日(土)10時30分～
11月18日(月)10時30分～

場所／旧町村農場

◆大麻スポーツ振興会

大麻スポーツフェスタ

スポーツクラブと子どもや高齢者が楽しく
過ごせるスポーツイベント

日時／10月6日(日)10時～15時

場所／大麻体育館

◆江別市女性団体協議会

第61回江別市女性大会

大会テーマ「ふれあい めくもり 思いやり」
～ 今、伝えよう ひとり一人の役割を ～

日時／10月8日(火)

受付／9時30分～ 開会式10時～

場所／野幌公民館ホール(託児あり)

参加料／500円

◆江別生涯学習インストラクターの会

成年後見制度とは～はじめの一歩～

成年後見人制度についてわかりやすく学ぶ

日時／11月9日(土)18時30分～20時30分

場所／野幌公民館研修室5号

協力／NPO法人さいわい成年後見センター

◆江別演劇鑑賞会

文学座「殿様と私」

作／マキノノゾミ 出演／西川信廣

出演／たかお鷹

日時／10月18日(金)18時30分～

場所／江別市民会館大ホール

劇団銅鑼「はい、奥田製作所。」

作／小関直人

演出／山田昭一・出演／鈴木瑞穂 他

下町の町工場を舞台に、働くこと生きること
の意味を問う。

日時／12月8日(日)18時30分～

場所／市民会館大ホール

◆江別市スポーツ少年団

第17回水泳大会

日時／11月3日(日)

場所／青年センター

第25回サッカー大会

日時／12月7日(土)、14日(土)、15日(日)

場所／対雁小学校・市民体育館

第33回柔道大会

日時／12月8日(日)

場所／青年センター

江別市民ミュージカル「森林公園の妖怪」開演！



実行委員会が主催の市民ミュージカル「森林公園の妖怪」が、8月24、25日に、えほホールで開催されました。
野幌森林公園を舞台に、戦時中にタイムスリップするストーリー。3回に亘る公演で、千人近くの来場者から賞賛を受けました。

◎子どもたちの熱演に感動しました。特に、テンポがよかったです。筋もしっかりしており、訴える内容になっていました。3回の公演でもっといい感じがあります。スタッフの皆さん、苦勞様でした。◎あなどうございました。とても面白かったです。大切な事に、たくさん気付けられる内容でした。見れて感謝です。
◎友だちが出ていて、友だちがせいっぱいがんばっていたので、こんどわたしも出たいと思いました。



生涯学習リレー講座に参加して

講座3 長寿社会の今を生きる

江別市自治会連絡協議会副会長
野幌地区自治会連絡協議会会長

阿部 実氏

江別市家庭問題研究会

野地 紀代

会場はほぼ満員で、表題の切実さを感じました。5つの柱に基づき、自己紹介、居住地の高齢者クラブの活動状況等が紹介されました。

講演の中で、世界と日本の人口推移、高齢者の世帯数推移、65歳以上者の世界と日本の医療費比較等が詳しく説明され、定年後の



老いのもろさや実践例がユーモアを交えながら披露され、聞きいつてしまいました。数多くの資料を短時間でまとめられたことにも頭が下がる思いです。
肉体的にも精神的にも衰えつ

つある高齢者も、何かに役立つ生き方が求められています。私自身も健康を維持し地域の方々とお互いに助け合い、幸齢社会、光齢社会を願う一人です。

先日、某眼科医院の待合室で、老婦人に息子さんとお孫さんが付き添い、一緒にドクターの説明を受けていました。まさに少なくなつた三世代構成のほほえましい光景にぬくもりを感じました。講演者阿部さん宅のように…



What? アメリカの手話 & 日本の手話



Thank you



ありがとう

《あとがき》

記録的な豪雨や強風が季節の変化を告げる頃、オリンピックの東京開催が49年ぶりに決まりました。

国際的に様々な課題が山積している中で、以前の様な効果を皆が期待しています。

自分の目でそのことを確認出来る様、また健康でイベントを迎えられる様、目標を持ってハツラツと楽しい人生を送りましょう。

洞野 博文